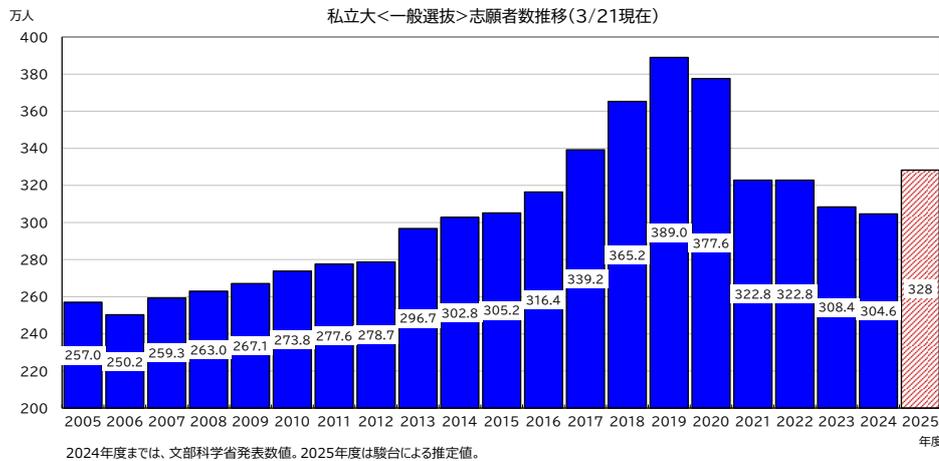


※本文中の()内の数値は、志願者数の前年度対比指数を表します。

◎志願状況全体概況

□延べ志願者数は増加

〔私立大志願者数推移〕



駿台集計による私立大158大学の一般選抜(学校推薦型選抜・総合型選抜等を除く)で志願者数が確定した募集単位を合計した延べ志願者数は、約273万人(108)で増加となっています。

この数値から推定される最終的な全私立大の延べ志願者数は、前年度304.6万人と比較して、約7.8%増加の328万人前後になると予想されます。

このような、一般選抜志願者

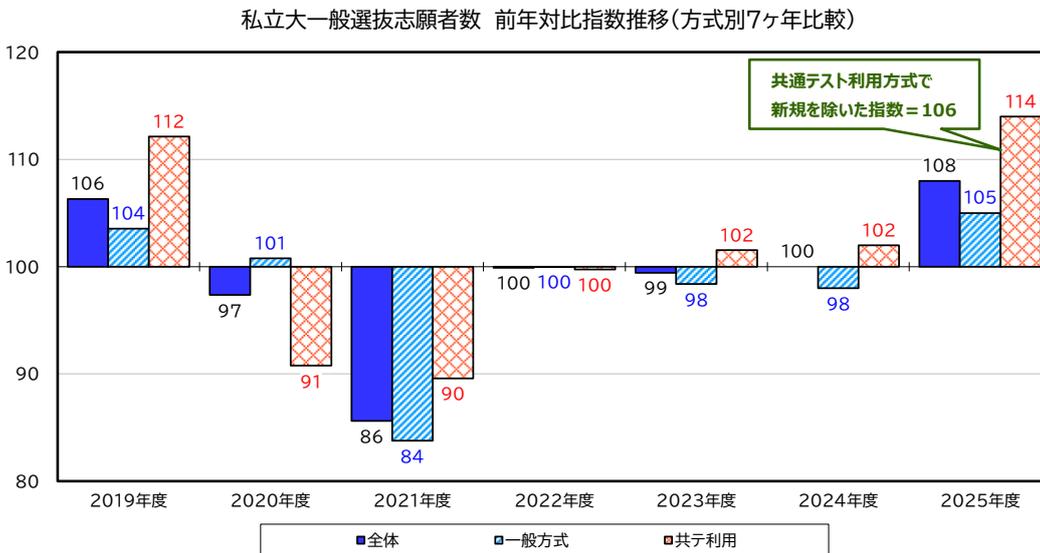
数が増加と予想される背景には、下記の3点が考えられます。

- ① 18歳人口の増加による受験人口全体の増加。
- ② 教育課程変更や共通テストの出題傾向変容による国公立大受験離れによる私立大併願校数の増加。
- ③ 共通テスト平均点アップに伴う目標ライン上昇により、併願校の追加出願の増加。

また、コロナ禍の収束に伴い、地方在住者は地元から離れた都市部の私立大を志望するようになり、南関東、東海、近畿といった主要都市部への私立大志願者数増加に影響しています。

□一般方式はやや増加、共通テスト利用方式は増加

〔私立大一般選抜 方式別志願者数 前年度対比指数〕



左のグラフは、私立大一般選抜の入試方式別の延べ志願者数の前年度対比指数の推移を表したものです。

2025年度では、一般方式(105)はやや増加、共通テスト利用方式(114)は増加となっています。

共通テスト利用方式は、成績中下位層の敬遠傾向はあるものの、国公立大志望者を中心

に共通テスト利用方式の併願が増加した結果、新規導入の募集単位を含め前年度より志願者数が増加しています。